

(様式 1 - 3)

福島県（楡葉町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和 7 年 7 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	78	事業名	楡葉小学校厨房改修事業		事業番号	(1)-15-7
交付団体		楡葉町	事業実施主体（直接/間接）		直接	
総交付対象事業費		(0) 184,778（千円）	全体事業費		(0) 184,778（千円）	
帰還環境整備に関する目標						
<p>楡葉町の小中学校は東日本大震災及び原子力災害により、町外での学びを余儀なくされたが、平成 29 年 4 月からは町内で中学校の校舎を小学校、中学校が共同使用する形で再開した。児童生徒数は震災前の状況（平成 22 年度 933 人）まで回復できていない。町内での学校再開当時（平成 29 年度 143 人）から、令和 7 年 5 月時点で 348 人となり、小学校 2 年生及び 1 年生では学年で 30 人を超えるなど、一定の回復が見られている。</p> <p>町では、児童数の増加による普通教室の不足や体育館などの特別教室を中学校と共同使用している現状を踏まえ、かつ子どもたちの教育環境向上のため、令和 4 年度から 2 校ある小学校を統合し、楡葉南小学校の校舎を小学校とした。</p> <p>そのなかで、現在の給食の提供体制は中学校（北地区）で調理したものを小学校（南地区）へ運んでいるが、近年の生徒数の増加により、中学校の厨房のみでは賄いきれなくなっている状況。町内での学校再開当時は児童生徒数が少ないために小学校の厨房は不要であったが、町の復興が進み帰還・移住者数が増えたことで、震災以前のように小学校での自校給食ができる環境へ戻すための厨房改修を行う。</p> <p>本事業は給食室の建物区分が校舎内に位置しているため、大規模改造（質的整備）として内部改造を行う。併せて工事監理業務も行う。</p>						
事業概要						
<p>○楡葉小学校厨房改修工事</p> <p>【令和 7 年度】</p> <p>1. 改修工事： 184,778 千円</p> <p>主な工事内容 厨房改修、工事監理</p> <p>【楡葉町復興計画（第二次）第三版】</p> <p>第三章 復興のための施策</p> <p>1. 暮らしやすさを追求する</p> <p>1-1) 豊かな教育環境の充実</p> <p>(1) 魅力ある小中学校の再生</p>						
当面の事業概要						
<p>【令和 7 年度】</p> <p>○楡葉小学校校舎改修工事（厨房改修）</p> <p>1. 改修工事： 182,683 千円 工事監理：2,095 千円</p>						
地域の帰還環境整備との関係						
<p>地域住民、保護者とその子ども達が帰還を早期に一人でも多く決断できるような安全安心な教育環境を整備することで、帰還促進につなげていく。</p>						
関連する事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1 - 3)

福島県（楡葉町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和 7 年 7 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	79	事業名	楡葉小学校厨房改修事業（効果促進事業）	事業番号	◆(1)-15-7-1
交付団体	楡葉町	事業実施主体（直接/間接）	直接		
総交付対象事業費	(0) 1,494（千円）	全体事業費	(0) 1,494（千円）		
帰還環境整備に関する目標					
<p>楡葉町の小中学校は東日本大震災及び原子力災害により、町外での学びを余儀なくされたが、平成 29 年 4 月からは町内で中学校の校舎を小学校、中学校が共同使用する形で再開した。児童生徒数は震災前の状況（平成 22 年度 933 人）まで回復できていない。町内での学校再開当時（平成 29 年度 143 人）から、令和 7 年 5 月時点で 348 人となり、小学校 2 年生及び 1 年生では学年で 30 人を超えるなど、一定の回復が見られている。</p> <p>町では、児童数の増加による普通教室の不足や体育館などの特別教室を中学校と共同使用している現状を踏まえ、かつ子どもたちの教育環境向上のため、令和 4 年度から 2 校ある小学校を統合し、楡葉南小学校の校舎を小学校とした。</p> <p>そのなかで、現在の給食の提供体制は中学校（北地区）で調理したものを小学校（南地区）へ運んでいるが、近年の生徒数の増加により、中学校の厨房のみでは賄いきれなくなっている状況。町内での学校再開当時は児童生徒数が少ないために小学校の厨房は不要であったが、町の復興が進み帰還・移住者数が増えたことで、震災以前のように小学校での自校給食ができる環境へ戻すための厨房改修を行う。</p> <p>本事業は一部床面積を増やす増築工事を実施することで、保健所より指導を受けた職員準備室から検収室への動線を、下処理室を通らずに直接行き来できる構造とする。基幹事業と一体と実施することで作業区分の明確化や衛生管理の徹底が図られることから、効果促進事業として計上する。</p>					
事業概要					
<p>○楡葉小学校厨房改修工事</p> <p>【令和 7 年度】</p> <p>1. 改修工事： 1,494 千円</p> <p>主な工事内容 厨房改修（増築工事）、工事監理</p> <p>【楡葉町復興計画（第二次）第三版】</p> <p>第三章 復興のための施策</p> <p>1. 暮らしやすさを追求する</p> <p>1-1) 豊かな教育環境の充実</p> <p>(1) 魅力ある小中学校の再生</p>					
当面の事業概要					
<p>【令和 7 年度】</p> <p>○楡葉小学校校舎改修工事（厨房改修）</p> <p>1. 改修工事：1,236 千円 工事監理：258 千円</p>					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>地域住民、保護者とその子ども達が帰還を早期に一人でも多く決断できるような安全安心な教育環境を整備することで、帰還促進につなげていく。</p>					
関連する事業の概要					

--

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	(1) -15-7
事業名	檜葉小学校厨房改修事業
交付団体	檜葉町
基幹事業との関連性	
本事業は厨房改修事業と併せ、一部床面積を増やす増築工事を実施することで、保健所より指導を受けた職員準備室から検収室への動線を、下処理室を通らずに直接行き来できるよう構造とする。基幹事業と一体と実施することで作業区分の明確化や衛生管理の徹底が図られることから、効果促進事業として計上する。	